

(2011年度)

3 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は16ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 携帯電話・PHSの電源は切ること。
3. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号かどうかを確認し，氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
4. 監督から試験開始の合図があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっているかどうか確かめること。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
7. マークをするとき，枠からはみ出したり，枠のなかに白い部分を残したり，文字や番号，枠などに○や×をつけたりしてはならない。
8. 訂正する場合は，消しゴムでいねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。採点が不可能になる。
10. 試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 日本古代における戦乱について記した次の短文A～Lをよく読んで、以下の問いに答えなさい。

- A 中国の歴史書^(a)に、「桓霊の間、倭国大いに乱れ、更^{こもこも}相攻伐して歴年主なし」と記された。
- B 陸奥の土豪安倍頼時が、その女婿^(b)らと国司に反抗し、朝廷の命を受けた源氏^(c)の父子が、清原氏の協力を得て平定した。
- C 再び挙兵した源頼朝を追討するために派遣された平家軍^(d)が、川^(e)を挟んで頼朝軍と対陣したが、夜襲の気配に飛び立つ水鳥の羽音に驚いて敗走した。
- D 筑紫国造磐井は、新羅と結んで反乱を起し、朝廷の半島出兵^(f)を妨害したが、1年半後に鎮圧^(g)された。
- E 伊治咎麻呂が紀広純^(h)を殺し、多賀城⁽ⁱ⁾を焼いた。
- F 壇の浦^(j)において、源平最後の合戦が行われた。安徳天皇^(k)を奉じ、平宗盛を将とする平家軍はここで滅んだ。
- G 阿倍比羅夫^(l)は、越の国守として大船団を組織し、齧田・淳足から津軽方面の蝦夷を征討した。
- H 陸奥守^(m)が清原氏の相統争いに介入し、藤原清衡を助けて、清原氏を金沢柵⁽ⁿ⁾で滅ぼした。
- I 恵美押勝は、孝謙太上天皇の寵愛する道鏡^(o)を排除しようとして失敗し、逃亡の末に討たれた。彼の擁立した淳仁天皇も配流^(p)となった。
- J 秋田城を焼き払った出羽国の俘囚^(q)を、藤原保則・小野春風らが鎮圧した。
- K 崇徳上皇・後白河天皇^(r)兄弟、関白藤原忠通・左大臣頼長^(s)兄弟らの対立が絡み、上皇方に源為義ら、天皇方に平清盛らが加わって対決した。
- L 高望王の曾孫が上総介・武蔵国押領使となり、反乱^(t)を起こして房総を占拠したが、追討使源頼信に降伏した。

問1 短文A～Lの文中にある下線部(a)～(t)の語句について、次の設問に答えなさい。

(1) 下線部(a)について、この同じ歴史書に含まれる文章は次のうちどれか。

もっとも適切なものを1つ選びなさい。

- ① 夫れ楽浪海中に倭人有り。分れて百余国と為る。歳時を以て来り献見すと云ふ。
- ② 建武中元二年、倭の奴国、貢を奉じて朝賀す。使人自ら大夫と称す。倭国の極南界なり。光武、賜ふに印綬を以てす。
- ③ 興死して弟武立つ。自ら使持節都督倭・百濟・新羅・任那・加羅・秦韓・慕韓七国諸軍事安東大將軍倭国王と称す。
- ④ 倭人は帯方の東南大海の中に在り、山島に依りて国邑を為す。旧百余国。漢の時朝見する者あり。

(2) 下線部(b)について、この人物の息子に当たるのは誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 藤原清衡 ② 藤原基衡 ③ 藤原秀郷 ④ 藤原経清

(3) 下線部(c)について、この父子の正しい組み合わせはどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 源頼信・頼義 ② 源満仲・頼光 ③ 源頼義・義家
- ④ 源頼信・義家

(4) 下線部(d)について、この平家軍を率いていたのは誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 平宗盛 ② 平資盛 ③ 平重衡 ④ 平維盛

- (5) 下線部(e)について、この川は甲斐国と駿河国を結ぶ重要な交通路であったが、近世に徳川家康の命で水路を開発し、舟運を開いたのは誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。
- ① 田中丘隅 ② 角倉了以 ③ 三井高利 ④ 鴻池善右衛門
- (6) 下線部(f)について、この出兵の目的とは何であったか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。
- ① 新羅征討・百濟救援 ② 新羅征討・任那(伽耶)救援
③ 高句麗征討・百濟救援 ④ 百濟・任那(伽耶)救援
- (7) 下線部(g)について、反乱の鎮圧に成功したのは誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。
- ① 物部麁鹿火 ② 近江毛野 ③ 物部尾輿 ④ 紀古佐美
- (8) 下線部(h)について、当時この人物が任命されていた役職は何であったか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。
- ① 征東大使 ② 征夷大將軍 ③ 陸奥按察使 ④ 追捕使
- (9) 下線部(i)について、この施設にあった鎮守府は、802年にどこに移されたか。また移設した人物は誰か。正しい組み合わせを、次から1つ選びなさい。
- ① 文室綿麻呂・志波城 ② 坂上田村麻呂・胆沢城
③ 藤原保則・秋田城 ④ 藤原緒嗣・桃生城
- (10) 下線部(j)について、これはどの国にあるか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。
- ① 長門国 ② 周防国 ③ 安芸国 ④ 讃岐国

(11) 下線部(k)について、この人物の母親をめぐる血縁関係を、正しく説明しているのはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 平宗盛は、この母親の弟に当たる。
- ② 平敦盛は、この母親の従弟に当たる。
- ③ 高倉天皇は、この母親の父に当たる。
- ④ 平維盛は、この母親の従弟に当たる。

(12) 下線部(l)について、この人物は別の戦闘にも従軍しているが、それは何か。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 壬申の乱 ② 物部守屋討滅戦 ③ 乙巳の変
- ④ 白村江の戦い

(13) 下線部(m)について、この人物は誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 源義家 ② 源為義 ③ 源為朝 ④ 源義朝

(14) 下線部(n)について、この施設はどの国に存在したか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 陸奥国 ② 越後国 ③ 上野国 ④ 出羽国

(15) 下線部(o)について、この人物が追放された寺院と同じ施設を持つものが、当時、日本に2ヶ所だけあった。それはどこか。もっとも適切なものを、次から2つ選びなさい。

- ① 東大寺 ② 薬師寺 ③ 興福寺
- ④ 筑紫観世音寺 ⑤ 武蔵国分寺 ⑥ 伊勢神宮
- ⑦ 宇佐八幡宮 ⑧ 延暦寺

(16) 下線部(p)について、配流されたのはどこの国だったか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 隠岐国 ② 淡路国 ③ 伊豆国 ④ 下野国

(17) 下線部(q)について、この語句の意味するものは何か。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 反乱軍の捕虜 ② 服属した蝦夷 ③ 秋田城の役民
④ 奴婢

(18) 下線部(r)について、のち、院近臣たちによる鹿ヶ谷の陰謀事件で処罰され、備前国に配流となったのは誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 俊寛 ② 西光 ③ 藤原成親 ④ 藤原師高

(19) 下線部(s)について、当代随一の学者としても知られたこの人物の日記はどれか。もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 『明月記』 ② 『台記』 ③ 『山槐記』 ④ 『玉葉』

(20) 下線部(t)について、この反乱が起きたとき、関白・左大臣の地位にあったのは誰か。もっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 藤原忠平 ② 藤原道長 ③ 藤原頼通 ④ 藤原忠通

問2 短文A～Lを年代順に並べ替えたうえで、次の設問に答えなさい。

- (1) 短文A～Lのうち、6番目に古い戦乱の名称を、以下の語群から1つ選びなさい。
- (2) 短文A～Lのうち、8番目に古い戦乱の名称を、以下の語群から1つ選びなさい。

〔語群〕

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| ① 保元の乱 | ② 前九年の役 | ③ 承平・天慶の乱 |
| ④ 伊治皆麻呂の乱 | ⑤ 元慶の乱 | ⑥ 後三年の役 |
| ⑦ 平治の乱 | ⑧ 刀伊の入寇 | |

2 次にあげる室町時代の文化を中心にした文章を読んで、下記の各問に答えなさい。ただし、文章は一部の語句を伏せてある箇所がある。

室町時代の文化を考える場合、次のような特色が挙げられる。まず、この文化の中心は京都にあったものの地方との交流も活発で、当時の海外文化の影響も色濃く受けながら、今日の日本文化の代表格とされるものを徐々に確立していった。一方で、民衆による文化への積極的参加も顕著にみうけられるようになり、その結果としての文化受容層の広がりや、この後の日本文化の展開において室町文化の存在感を一層強めることとなる。

この時代の文化を時代順におおまかに分けると、まず南北朝文化から始まり、ついで(イ)代将軍足利(ロ)の時代の北山文化、(ハ)代将軍である足利(ニ)時代の東山文化へと続いてゆくことになる。

最初の南北朝文化について代表する著作物に目を向けると、まず時代相を反映した軍記物の(ホ)が挙げられるし、同じ視点からの歴史物として(ヘ)鏡を挙げるができる。更には(ト)側の立場から記述した(チ)に対し、その反対勢力である(リ)側からの視点で著された北畠親房の(ヌ)もよく知られるところである。また北畠には、日本の官職制度についての著作である

(ル)もある。

一方で連歌や能楽もこの頃より親しまれ、自由な娯楽的茶会である(ヲ)も流行し、賭け事である鬮茶も行われた。これらは、室町時代が下るにつれて全般的に一層洗練され、日本文化の代表格へと昇華してゆく。

室町時代、庶民に流行した芸能としては小歌・古浄瑠璃・(ワ)などもあり、(カ)は小歌の代表的歌集である。連歌では(ヨ)に(タ)があらわれ、菟玖波集を著したほか、規則書である(レ)を制定した。連歌では、このほか(ソ)風連歌を確立した宗祇も著名で、彼は(ツ)も編集している。また、(ネ)連歌を創出した宗鑑もこの方面で忘れることのできない人物であろう。

問1 上記の文章中の空欄(イ)～(ネ)について歴史上の用語として最適なものを1つ選びなさい。

イ ① 2 ② 3 ③ 4 ④ 5 ⑤ 6

ロ ① 義明 ② 義元 ③ 義尚 ④ 義時 ⑤ 義満

ハ ① 8 ② 9 ③ 10 ④ 11 ⑤ 12

ニ ① 義政 ② 義晴 ③ 義視 ④ 義持 ⑤ 義高

ホ ① 平家物語 ② 海道記 ③ 太平記 ④ 百練抄
⑤ 吾妻鏡

ヘ ① 大 ② 増 ③ 今 ④ 花 ⑤ 水

ト ① 南北朝 ② 庶民 ③ 教団 ④ 南朝 ⑤ 北朝

- チ ① 愚管抄 ② 吾妻鏡 ③ 難太平記 ④ 花鳥余情
⑤ 梅松論
- リ ① 南北朝 ② 庶民 ③ 教団 ④ 南朝 ⑤ 北朝
- ヌ ① 河海抄 ② 樵談治要 ③ 庭訓往来 ④ 統道真伝
⑤ 神皇正統記
- ル ① 公事根源 ② 官職要解 ③ 経世秘策 ④ 職原抄
⑤ 柳子新論
- ヲ ① 茶寄合 ② 茶会席 ③ 茶懐石 ④ 茶賭会
⑤ 茶座談
- ワ ① 新内 ② 催馬楽 ③ 幸若舞 ④ 歌舞伎
⑤ 常磐津
- カ ① 閑吟集 ② 犬菟玖波集 ③ 沙石集 ④ 塵劫記
⑤ 梨本集
- ヨ ① 南北朝期 ② 北山文化期 ③ 東山文化期
④ 15世紀末 ⑤ 16世紀初頭
- タ ① 一条兼良 ② 二条良基 ③ 三条西実隆 ④ 四辻善成
⑤ 五代友厚
- レ ① 節用集 ② 庶物類纂 ③ 弁道 ④ 応安新式
⑤ 古今伝授

ソ ① 正 ② 薫 ③ 談 ④ 貞 ⑤ 宗

ツ ① 新撰菟玖波集 ② 新々菟玖波集 ③ 続菟玖波集
④ 犬菟玖波集補遺 ⑤ 菟玖波集補遺

ネ ① 今様 ② 談林 ③ 水無瀬 ④ 山門 ⑤ 俳諧

問2 下記の1～5の各語群について、室町時代の文化に帰属するものをそれぞれ1つ選びなさい。

1 ① 蓮華王院本堂 ② 石山寺多宝塔 ③ 西本願寺飛雲閣
④ 富貴寺大堂 ⑤ 永保寺開山堂

2 ① 石山寺本堂 ② 興福寺五重塔 ③ 東大寺南大門
④ 東大寺三月堂 ⑤ 中尊寺金色堂

3 ① 十訓抄 ② 禁秘抄 ③ 義経記 ④ 古今著聞集
⑤ 十六夜日記

4 ① 申楽談義 ② 大和本草 ③ 聖教要録 ④ 文会筆録
⑤ 慎思録

5 ① 童子問 ② 物くさ太郎 ③ 和俗童子訓 ④ 武道伝来記
⑤ 仮名草子

3 江戸幕府将軍、徳川家重および徳川家治の時代に老中となり幕政を掌握した人物(A)と、その失脚後に幕政改革を担った人物(B)について、以下の問いに答えなさい。

問1 次の文章は、(A)の諸策である。空欄(1)から(10)に該当する語句を語群から選びなさい。

享保の改革の後、年貢米収入は順調に増加したものの、宝暦期を境に、頭打ちとなり米価が下落し、幕府財政は再び行きづまった。そこで(A)は各地で発展しつつあった特産物をはじめとする商品生産や流通を掌握するため、都市や農村の商人、手工業者を、営業独占権をもつ組織である(1)として公認し、それらに税率一定の各種営業税である(2)や商工業者の営業免許税である(3)などをかけ、また各座(銅、真鍮、人参、朱)を設けて(4)制を実施した。貨幣は、使用するのに便利な(5)を大量に鑄造した。

また、大坂などの大商人の資金活用を奨励し、下総(6)沼や手賀沼の開発に取り組み、新田開発によって耕地を拡大し、年貢収入の増加をはかった。

さらに、(A)は(7)藩に隣接する蝦夷地に目をつけた。仙台藩の医師で『赤蝦夷風説考』の作者である(8)が、ロシア人の千島列島を南下と、当地の藩との通商交渉を行ったという情報を伝えたためである。それに応えて、(A)は2回にわたって(9)を中心人物とする調査隊を派遣した。その地の交易実態、新田開発や鉱山開発、ロシア人との交易の可能性などを調査させた。

ただし、(A)は商業資本を利用し賄賂政治が一般化したため、それが厳しい批判の対象となった。さらに、飢饉や浅間山の噴火、水害などが相次ぎ世相が乱れた。そんな中、(10)年(A)の息子で若年寄であった人物が暗殺され、(A)は同情をうけるどころか、暗殺者が「世直し大明神」ともてはやされるなど、かえって批判を一身にうけた。

〔語群〕

- | | | | |
|------------|--------|--------|--------|
| ① 近藤重蔵 | ② 秋田 | ③ 寛永通宝 | ④ 1782 |
| ⑤ 会合衆 | ⑥ 佐倉 | ⑦ 間宮林蔵 | ⑧ 冥加 |
| ⑨ 自由貿易 | ⑩ 1783 | ⑪ 株仲間 | ⑫ 運上 |
| ⑬ 松前 | ⑭ 工藤平助 | ⑮ 印旛 | ⑯ 最上徳内 |
| ⑰ 南鐐式(二)朱銀 | ⑱ 段銭 | ⑲ 1784 | ⑳ 専売 |

問2

- (1) (B)の幕政改革の原因となったのは全国30カ所余りで起こった「打ちこわし」であった。それが起こったのはいつか。
- ① 1787年 ② 1788年 ③ 1789年 ④ 1790年 ⑤ 1791年
- (2) 新たに幕政を担い、この幕政にたずさわった老中(B)はどこ藩主だったか。
- ① 仙台藩 ② 会津藩 ③ 館林藩 ④ 白河藩 ⑤ 福島藩
- (3) この幕政改革の際の将軍で、(B)が補佐したのは誰か。
- ① 徳川綱吉 ② 徳川吉宗 ③ 徳川家斉 ④ 徳川家慶
⑤ 徳川家定
- (4) (B)は、ある将軍の孫にあたり、その幕政を模範としていた。それは何代目の将軍か。
- ① 六代 ② 七代 ③ 八代 ④ 九代 ⑤ 十代
- (5) (B)は「天明の飢饉」を乗り切って藩政を立て直し、名君として注目をあつめた。その飢饉の特徴としてあてはまる記号を選びなさい。
- ① 西日本の干ばつと東日本の長雨と冷害による。5～10万の餓死者があったとされる。
- ② 長雨とウンカの害による飢饉で西国一帯にわたり、飢民約200万をう

みだした。

- ③ 長雨と浅間山大噴火、冷害、水害などにより全国規模の飢饉となったが特に東北地方で被害が甚大であった。餓死者10数万人を出したとされる藩もある。
- ④ 洪水、冷害などにより全国的規模の飢饉であったが、特に奥羽地方の被害がおおきく、百姓一揆が激増した。江戸の御救小屋では5800人が収容されたという。
- ⑤ 長雨、異常低温、台風などがかさなり、近畿、山陽、山陰、北陸へと広がり、京都に難民があつまった。

問3 (B)の改革について説明した次の文章の空欄(1)～(5)に最も適切な語句を語群から選びなさい。

100万両の収入不足が見込まれた危機的な幕府財政再建のため、財政緊縮策として(1)が出され、大名から百姓、町人に徹底された。それは、大奥や朝廷にまでおよんだ。また、旗本や御家人を救済するため、寛政元年には(2)が出された。これは事実上の借金踏み倒しであった。激減する農村人口への対処として(3)の禁止や、飢饉などで江戸に流入した人々に旅費をあたえ農村にもどることを勧めた(4)が出された。また備荒貯蓄、米価調節のために粃米を貯蔵する(5)も行われた。

[語群]

- ① 相对済し令 ② 囲米 ③ 出稼ぎ
- ④ 間引き ⑤ 足高の制 ⑥ 旧里帰農奨励令
- ⑦ 儉約令 ⑧ 地租改正 ⑨ 上げ米
- ⑩ 人返し令 ⑪ 棄捐令 ⑫ 上知(地)令
- ⑬ 株仲間解散令 ⑭ 専売制 ⑮ 物価引き下げ令

問4 この幕政改革と並行して行われた諸藩の改革について以下の問いに答えなさい。

- (1) 諸藩の改革の特徴として述べた以下の文に誤りがなければ①を、誤りがある場合には②を選びなさい。

藩主みずから改革を主導した。特に藩士の綱紀を引き締め、儉約や統制を強め、財政危機を克服することで藩政を立て直そうとしたことが特徴である。

- (2) 熊本藩主であった人物は農村の復興などを推進し、藩校時習館を設立した。この人物とは誰か。

- ① 細川藤孝 ② 細川忠興 ③ 細川忠利 ④ 細川重賢
⑤ 細川護熙

- (3) 農村の復興や財政再建のほか殖産興業政策に力を入れた松平治郷が統治していた藩はどこか。

- ① 仙台藩 ② 秋田藩 ③ 岡山藩 ④ 松江藩 ⑤ 佐賀藩

- (4) 藩校興讓館を開設し、有能な人材を登用しようとした藩はどこか。

- ① 水戸藩 ② 館林藩 ③ 松代藩 ④ 会津藩 ⑤ 米沢藩

- (5) 藩主佐竹義和によって生産性を高め、また藩校明德館を設立したのは何藩か。

- ① 秋田藩 ② 庄内藩 ③ 盛岡藩 ④ 弘前藩 ⑤ 富山藩

問1 次の文章の空欄(a)～(f)に当てはまる語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。同じものを何回選んでもよい。

明治維新後、新政府は、欧米諸国および周辺諸国・地域とのあいだでそれぞれ外交上の問題をかかえた。

欧米諸国とのあいだでは、徳川幕府時代に締結された不平等条約を改正する問題があった。(a)年の11月に右大臣の(b)を大使とする使節団が欧米諸国に派遣され、まず(c)と交渉したものの、予備交渉にまでもいたらず、その後は各国の制度や文物などの視察をして、(d)年に帰国した。その後、(e)年には外務卿の(f)が関税自主権回復の条約改正交渉で一部成功しようとしていたものの、複数の国の反対があったため、失敗に終わってしまった。

〔語群〕

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| ① 1872 | ② フランス | ③ 1878 | ④ イギリス |
| ⑤ 副島種臣 | ⑥ 1871 | ⑦ 井上馨 | ⑧ 1876 |
| ⑨ アメリカ | ⑩ 1879 | ⑪ 1870 | ⑫ 岩倉具視 |
| ⑬ 1877 | ⑭ 寺島宗則 | ⑮ 1875 | ⑯ 1874 |
| ⑰ ドイツ | ⑱ 三条実美 | ⑲ 1873 | ⑳ 大久保利通 |

問2 次の文章の空欄(a)～(k)に当てはまる語句を、以下の語群から1つずつ選びなさい。同じものを何回選んでもよい。

同時期、近隣諸国とのあいだでは、まず(a)年、清国とのあいだで修好条規を結んで、相互に領事裁判権を認めることなどを定めた。

そして、江戸時代初期の薩摩藩の侵攻以来、その支配下にあった一方で、清国を宗主国ともし続けるという両属関係にあった琉球王国に対して、明治

政府は、それを日本領とするという方針を立てた。廃藩置県後の(b)年に琉球藩において政府の直属として、琉球国王(c)を藩王とした。それに対して、清国は強く抗議して、この措置を認めなかったものの、明治政府は(d)年、琉球王国・藩の廃止と沖縄県の設置を断行した。

明治政府は発足後、すぐに朝鮮に修交を求めたが、当時は鎖国政策をとっていた朝鮮は、日本の姿勢に不満をいだき、正式の交渉には応じなかった。そのため、そのことに不満をいだいた政府内の人たちは(e)年、特使として(f)を朝鮮に派遣しようとしたが、彼と同郷かつ「竹馬の友」でもあった(g)ほかの反対もあって、特使の朝鮮への派遣は、実現しなかった。それでも、明治政府は(h)年に起こった(i)事件を機に朝鮮に開国を迫り、翌年には日本にとって有利な内容の日朝修好条規を結び、朝鮮を開国させた。

さらに、日露両国人の雑居状態のバランスがロシア人の増加で崩れていたため、幕末以来ロシアとのあいだで懸案になっていた(j)の帰属については結局、(k)年にロシアとのあいだで交換条約を結んで、この地域はロシア領、幕末期の日露和親条約では両国間で境界を定めていた地域はすべてが日本領となった。

[語群]

- | | | | |
|--------|--------|---------|---------|
| ① 1879 | ② 木戸孝允 | ③ 1871 | ④ 江藤新平 |
| ⑤ 濟州島 | ⑥ 1874 | ⑦ 尚寧 | ⑧ 1873 |
| ⑨ 西郷隆盛 | ⑩ 1880 | ⑪ 大久保利通 | ⑫ 巨文島 |
| ⑬ 1872 | ⑭ 尚泰 | ⑮ 1878 | ⑯ 板垣退助 |
| ⑰ 千島 | ⑱ 1875 | ⑲ 伊藤博文 | ⑳ 尚真 |
| ㉑ 1876 | ㉒ 樺太 | ㉓ 1870 | ㉔ 江華島 |
| ㉕ 北海道 | ㉖ 1877 | ㉗ 対馬 | ㉘ 後藤象二郎 |

